

連携協約・圏域ビジョン			H27年度事業計画	進捗概要 (●実施済・○実施中・△実施予定)	
分野	施策名	事業名・事業概要			
1 圏域全体の経済成長のけん引	(1) 圏域全体の産業振興の仕組みづくり	ア 成長戦略のフォローアップ	成長戦略の進行管理、「びんご圏域活性化戦略会議」の運営、事業の評価と見直し等を行う。	○びんご圏域ビジョンの進行管理・更新(連携協議会、戦略会議の開催) ○昨年度実施した事業者アンケートの追加調査(事業者ニーズの洗い出し)	●第1回連携協議会(5/20)、●第2回連携協議会(10/26)【世羅町】、● <u>第3回連携協議会(1/22)</u> ●第1回戦略会議(6/4)、●第2回戦略会議(11/27)、● <u>第3回戦略会議(2/1)</u> ●備後圏域産業連関表の作成に係る事業者アンケートなどによるニーズ把握
		イ 備後圏域産業連関表の作成・活用	圏域全体の産業振興に資する備後圏域産業連関表を作成し、活用する。	○備後圏域産業連関表の作成 ○連関表の活用に向けた研修等の実施	●事業者アンケート「4,842社」・消費動向調査「4,500世帯」 ※10月～11月調査票発送・回収 ～12月産業連関表作成 1月～分析 ●産業連関表に係る勉強会の立ち上げ(8/20, <u>12/25</u>) ※全4回開催
		ウ 産業支援拠点機能の充実	産学金官が連携し、企業の経営革新、技術革新、人材育成等、圏域における産業振興に必要な拠点機能の充実に取り組む。	○備後圏域の産業支援拠点機能の整備に向けた基礎調査の実施 ○現在ある支援機能の整理と効果の検証	●備後圏域産業連関表の作成に係る事業者アンケートなどによるニーズ調査
	(2) 中小企業事業者等への支援	ア 中小企業事業者のイノベーション等の推進	異分野異業種の合同研修や中小企業の経営改善、大学又は様々な業種とのマッチング等を進めるびんご産業支援コーディネーターの育成や活動支援等に取り組む。	○備後圏域のビジネス交流フェアの充実 ○異分野異業種の合同研修会の実施 ○びんご産業支援コーディネーター派遣事業の実施	△ビジネス交流フェア(2/16)【福山ニューキャッスル】(福山商工会議所主催) ○びんご産業支援コーディネーター派遣事業実績 <u>85回(1/26現在)</u> ※うち、三原市4回、尾道市1回、神石高原町6回 ※広報番組による周知(11/4)
		イ 女性の創業支援	産学金官で連携することにより、女性が働きやすく、創業できる環境整備に取り組む。	○女性の創業促進セミナーの実施(1回) ○金融機関と連携した支援制度の検討	●女性創業セミナー(8/4)【参加者数 73人】 ・日本政策金融公庫等との共催
		ウ 地域の産業集積による競争力向上	圏域の企業が、ものづくり技術を活用し、ご長寿産業等の新たな分野への参入や新たな製品開発に取り組むことができるよう支援する。	○ご長寿産業の先進事例の研究・視察の実施 ○ご長寿産業への支援制度の検討	●他地域事例の視察、備後地域事業者へのニーズ調査等を実施した結果をふまえて、地域経済活性化研究会の「ものづくりワーキング」で議論(第1回:7/14, 第2回:8/19) ○圏域の大学(県立広島、福山、福山市立)の講師・地元ケアマネージャーと連携した会議を実施。今後も継続して実施予定 →支援策について検討中 →地域経済活性化研究会(8/26)において新年度事業等について協議
		エ 雇用対策	圏域内の市町が連携し、若者や女性、高齢者、障がい者の就労支援等、雇用の促進に取り組む。	○備後圏域における若者就職活動支援セミナーの実施 ○備後圏域市町を含めた労働行政担当研修会の実施 ○障がい者就労支援の対象を備後圏域へ拡大するための仕組みづくりの検討	●若手人材育成セミナー(8月・9月) ・食品関連企業対象(8/7)【参加者 29人】 ・ものづくり企業向け(8/21)【参加者 43人】、(9/25)【参加者 22人】 *福山大学、ポリテクカレッジと連携 ●U・Iターナー就職・総合相談会を実施(8/7)※参加企業・参加者を圏域(井笠)に拡大 【参加企業数 104社(うち笠岡1、井原2)、参加者 156人(Uターナー希望者16人、一般30人、学生110人)】 ●学生を対象とした企業見学会を実施 ・福山商業高校【参加者 23人】→2社(キャステム、ベッセル)(7/3) ・福山市立大学【参加者 19人】→2社(エフピコ、ホーコス)(8/7) ・福山工業高校【参加者 21人】→2社(キャステム、リョービ(府中市))(8/20) ●障害者雇用推進セミナー(10/19)【参加者 96人】 ●フリーター・ニートの保護者(家族)向け就職支援セミナー・個別相談会(セミナー 10/20 参加者9人・相談会 3日間実施 参加者12人) ・笠岡会場・個別相談会(11/25 参加者3人) ● <u>若手社員と学生との交流会(1/21)【参加企業:福山市4社、府中市1社 10人】【参加学生:福山市内4大学 22人】</u> <u>○ばらのまち福山 学生登録(1/4～受付開始)</u>
	(3) 第一次産業の活性化	ア 6次産業化の推進	圏域内の地域資源を活用した農林水産業の新たな付加価値の創出を図る6次産業化を推進することで、雇用創出や地域経済の活性化に取り組む。	○農林水産担当課による連絡会議の設立及び開催 ・6次産業化の具体的な方向性及び取組内容について分野別に検討(農業・林業・水産業)	●備後圏域6次産業化ネットワーク会議を設立(6/3) ○農業(7/27)、林業(6/15, 7/15, 8/5)、水産業(8/7, 9/1, 10/6, <u>12/21</u>)の各部会を順次開催 →地域経済活性化研究会(8/26)において新年度事業等について協議(基礎調査の状況報告など) ・農業・水産業の基礎調査を(一財)岡山経済研究所と業務委託契約(10/23)
		イ 第一次産業振興のための環境整備	第一次産業の担い手の確保や生産基盤の整備等に取り組むとともに、地域間連携・異業種間連携による瀬戸内の小魚の地域ブランド化等を推進する。	○林業・木材産業振興に係る基礎調査の実施	●備後圏域6次産業化ネットワーク会議(林業部会・水産部会)において下記項目について議論 ・基礎調査を(株)エブリプラン中国支社と業務委託契約(8/20) ・地魚のブランド化の目指すべき方向性の検討 ・漁場環境整備(栄養塩の供給)について先行事例(福山市)の情報共有 ※水産部会は沿岸の4市で構成
	(4) 戦略的な観光振興の研究	ア 戦略的な観光振興	圏域内の観光資源を見つめ直すことで、圏域全体の魅力に磨きをかけ、圏域外からも多くの観光客を引き付ける取組を推進する。	○広域観光ルートの設定に向けた検討	●担当者会議を開催(7/7) ●広域観光ワーキングを開催(第1回:7/29, 第2回:8/19) →第1回地域経済活性化研究会(8/26)において新年度事業等について協議(観光パンフレット、マップ作成など)

2015年度(平成27年度)備後圏域連携中枢都市圏 連携事業の事業計画と進捗概要

連携協約・圏域ビジョン				H27年度事業計画	進捗概要 (●実施済・○実施中・△実施予定)
分野	施策名	事業名・事業概要			
2 高次の都市機能の集積・強化	(1) 高度医療の充実や強化	ア 高度な医療サービスの提供	圏域における安心・安全な医療提供体制の確立をめざし、医療連携の促進と圏域全体の医療の質の向上に取り組む。	○看護職員再就職支援セミナーの開催 ○広島県、岡山県の医療情報ネットワークの連携促進	○看護職員再就職支援セミナー(圏域対象) (第1回:12/16【参加者13人】、第2回:2/17開催予定) ○医療情報ネットワークの連携促進に向けた協議(看護師の確保などについて協議) ・広島県・岡山県との事前協議(7月~8月)
	(2) 広域的な都市基盤の整備	ア 広域的な都市基盤の整備	備後圏域の将来の発展を見据え、公共交通網の整備等、圏域全体の住民の利便性の向上や企業の拠点強化につながる都市基盤の整備に取り組む。	○立地適正化計画に係る意見交換会の開催	●立地適正化計画等連絡調整会議(各市町担当課との意見交換)の設置準備会の開催(8/17, 10/20) ●公共施設の広域的な管理・運用等に関する関係課長会議の開催(10/7)
	(3) 高等教育機能の充実や強化	ア 次世代の人材育成に向けた高等教育の充実	大学や研究機関、企業等と連携し、圏域のシンクタンク機能を高めることで、幅広い分野で備後圏域の発展を支える人材の育成に取り組む。	○高大連携・大学連携のテーマの研究 ○圏域の課題解決、政策提言などシンクタンクの役割を担う研究会の立ち上げの検討	●高度人材育成ワーキングで議論「高大連携・大学連携、シンクタンク機能など」(第1回:7/14, 第2回:8/17) →第1回都市機能研究部会(9/10)において新年度事業等について協議 ●特別企画シンポジウム「知の交流拠点としての大学等の公開講座」を開催(5/30) ○大学等による公開講座等の一元的な情報発信(ポスター、チラシ制作)について検討中 ●6大学等エクステンション連携会議の開催(第1回5/30, 第2回8/7, 第3回12/21) ●備後圏域における公開講座等の共同実施に向けた取組 ・教育ネットワーク中国への加入に向けた説明会(9/17) ・高大連携実務担当者会議への出席(10/26) ・6大学への説明会を実施(12/21) ○発達障がい切り口とした研究会の立ち上げについての協議(1回目 9/18) (福山市立大学, 福山大学, 県立広島大学) ○広島県グローバル人材育成事業の継承に向け、事業実施協議会の立ち上げについて協議中 (福山大学, 尾道市立大学, 福山市立大学, 福山平成大学) ※対象を圏域に拡大予定

2015年度(平成27年度)備後圏域連携中枢都市圏 連携事業の事業計画と進捗概要

連携協約・圏域ビジョン			H27年度事業計画	進捗概要 (●実施済・○実施中・△実施予定)	資料1-1
分野	施策名	事業名・事業概要			
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 医療や福祉サービスの充実	ア 地域医療の充実	地域医療の充実を図るため、各医療機関のネットワークの強化や機能に応じた役割分担、救急医療体制等の連携強化を促進する。	○救急医療体制の充実等についての意見交換を実施	●公立病院間の医療連携に関する連絡会議(8/11)で各病院の現状と課題を共有 →今後、医療スタッフの教育・研修等病院間の連携の具体について担当者レベルで協議
		イ 高齢者や障がい者等の福祉の充実	高齢者や障がいのある人等が、いつまでも住み慣れた地域で生き生きと暮らすことができる環境整備を推進する。	○地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を実施 ・医療・介護連携促進に向けた関係者会議を開催 ・市民後見人を育成 など ○地域包括ケアシステムの構築に資する研修会や講演会を開催	●連絡調整会議(第1回6/10、第2回7/28、第3回9/30)・ワーキング(第1回7/28、第2回8/31、第3回8/31、第4回10/20、 第5回12/25) ※住民サービス研究部会の健康・ご長寿ワーキングに係る関係者会議を適宜開催 ○医療と介護の連携(地域資源マップの作成、専門職研修会等の開催) ○認知症施策(徘徊SOSネットワークの広域化、市民後見養成講座の開催、各種研修・講演会の開催) ○地域包括ケアシステムの普及啓発(講演会等の開催)等 ○事業別に運営やサービスの質の向上に向けた集団指導・研修の開催、指導監査・実地指導の業務に携わる職員の資質の向上に向けた研修の共同開催を検討 ●有料老人ホーム等集団指導研修の実施(8/18) ●感染症予防研修の実施(9/26) ●成年後見制度講演会の開催(10/11) ●介護保険・地域密着型サービス事業者合同実地指導の実施(10/20、10/30) ●合同先進地視察(桑名市・名古屋市の実施(10/25・26)) ● 合同先進地視察(和光市・松戸市)の実施(1/14・15) ● びんご圏域地域包括ケアチャレンジフォーラムの開催(1/30) ○ 事業者集団説明会の開催(3/11予定) ○ 地域資源マップの作成(年度内) ※連携事業は次年度以降も継続、拡充
		ウ 子育て支援の充実	産前産後の母子を支援する取組や発達に課題のある子どもへの支援等に取り組み、圏域における子育て支援サービスの向上に向けた環境整備を進める。	○こども発達支援センターの共同運営 ○発達障がい児支援に関する研修会を実施	●関係市町連絡会議幹事会の開催(9/2)(共同運営に関する協議) ●こども発達支援ネットワーク協議会の開催(11/20) ○相談や診察、訓練などの医療的支援の実施(センター利用件数 1,750件(4月~8月)) ●子育て応援センター「ことばの相談室」における障がい児保育・特別支援教育の研修(講演会:8/11 講師:広島大学教授) 【参加者:232人(内37人:府中市5人、神石高原町11人、笠岡市6人、井原市15人)】 →次年度においても実施の方向で検討
	エ 健康づくりの推進	健康寿命の延伸や広域的な健康づくり等に取り組む。	○圏域住民の健康づくりに向けた意見交換会の開催	●第1回健康ワーキングの開催(9/25) ①産前・産後のケア体制の整備、②スマート・ウェルネスシティ(健康社会)の研究、 ③ボランティアの共同育成と広域的な活動の推進 ○①~③の共同実施の可能性について意向調査を実施(10月末)→今後結果を共有し、検討予定(今年度中)	
	(2) 広域化による住民サービスの向上	ア 災害に関する安心・安全の確保	圏域における「災害時の相互応援に関する協定書」に基づき、広域的な連携による復旧支援等、圏域住民の安心・安全の確保に取り組む。	○中海・宍道湖・大山圏域と圏域間の災害時の相互応援協定の締結 ○地域防災力の強化に資する人材の育成策について検討	●中海・宍道湖・大山圏域と圏域間の災害時の相互応援協定の締結(5/11) ○防災士(NPO法人日本防災士機構)の受験資格が取得できる市民講座「福山防災大学」の受講対象を圏域へ拡大することについて検討中
		イ 環境に配慮した循環型社会の構築	環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会を構築するための広域的な取組等、地球にやさしい環境づくりを推進する。	○ベスト運動の圏域内への普及に向けて、対象の拡大や広報活動の実施検討	○ベスト運動の会員増に向けた圏域の市町連携によるPR強化(イベントでの周知など) ● 各市町所在の企業情報の取得について連携し、企業への啓発・協賛依頼を実施(協力及び協賛企業数:169社) ○ 企業・従業員に対する啓発ツールを作成中 ○福山市が取り組んでいる事業を紹介し、連携可能な事業について検討中 ●福山市が取り組んでいる学校TFP(小学校訪問事業)について府中市が視察(9/17)
		ウ 行政サービスの向上	共同利用可能な情報システムの整備に向けた調査・研究等を行うとともに、地域の課題解決や新たな価値の創出に資する情報を公開するための仕組みづくりに取り組む。	○共同利用が可能なシステム等について研究	○備後圏域連携協議会情報システム部会(マイナンバー制度について協議中) (第1回:7/8、第2回: 2/12予定) →今後、同部会において共同利用が可能なシステム等について研究
	(3) 地域活性化の推進	ア 農林水産物を活用した地域活性化	圏域内の農林水産物を地域の産直市や学校給食等に活用することで、安心・安全な食の確保、地産地消・食育等の推進に取り組むとともに、道の駅等を活用した地域活性化に取り組む。	○圏域内の農林水産物の学校給食への活用を検討 ○道の駅のネットワーク化等、販路拡大について検討	△備後圏域6次産業化ネットワーク会議で議論「圏域内の農林水産物の学校給食への活用」 ○道の駅の基礎調査を実施(福山大学と委託契約締結 12/18) ※ 各道の駅等でアンケートを実施予定(2/17、21)
		イ 公共交通体系とデマンド交通の検討	住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通体系と圏域の市町のデマンド交通の在り方の研究に取り組む。	○地域公共交通網形成計画策定にかかる調整 ○交通空白地対策にかかる実施状況の調査 ○デマンド交通のノウハウの共有	○地域公共交通網形成計画について笠岡市が連携して策定する意向があり、今後、法定協議会設立に向け検討中(年度末) ※中国運輸局と協議し、市町をまたぐ計画策定の方法について検討中 ●交通空白地対策等に係る事業実施状況を取りまとめた「備後圏域における移動手段確保対策事業」を作成し、関連事業のデータベース化、情報共有
		ウ 大学を活用した地域活性化	圏域内の大学等と協力し、地域課題の解決やにぎわいの創出に向けた事業について研究を行う。	○地域課題解決を図るため公開講座の共同開催や域学連携などの取組を推進	(再掲)特別企画シンポジウム「知の交流拠点としての大学等の公開講座」を開催(5/30) (再掲)大学等による公開講座等の一元的な情報発信(ポスター、チラシ制作)について検討中 (再掲)6大学エクステンション連携会議(第1回5/30、第2回8/7、第3回12/21)
	(4) 定住促進	ア 備後圏域定住促進事業	圏域外からの住民の移住を促進するため、UIJターンの希望者に対するPR活動を始め、学生を対象としたインターンシップの実施等に取り組む。	○空き家の実態調査の実施に係る情報交換 ○びんご空き家バンクの設立に向けた検討 ○福山市東京事務所を活用した情報発信を検討	●空き家の実態調査【福山市】(7月~10月) 仕様書等について三原市・尾道市と情報交換 ○住民サービス研究部会の移住・定住ワーキングで議論 「大都市圏での定住フェア開催・情報発信等、広域的な空き家バンク制度の検討等」 (第1回:7/15、第2回:8/6、第3回:開催未定) →第1回住民サービス研究部会(9/1)において新年度事業等について協議
	(5) 圏域マネジメント能力の強化	ア 人材の育成と人材ネットワークの構築	生涯学習等を通じて、地域の課題解決や魅力発信につながる人づくり・地域づくりを推進する。 自治体職員については、合同研修や交流により資質の向上に取り組む。	○協働に係る人材の育成についての意見交換会を開催 ○職員合同研修会を開催	●協働に係る人材の育成について担当者会議を実施 ●自治体職員の人材育成情報交換会の開催(8/3) ●福山市主催の管理者研修[講演会](10/27)や各市町の研修会開催の共有と参加呼びかけ【参加者:尾道市6人、府中市1人、神石高原町5人、笠岡市1人】 ● 福山市主催のふくやまアクション発表会(12/24)【参加者:府中市2人、笠岡市2人】や各市町の研修会開催の共有と参加呼びかけ ●各市町の関係課を訪問、中枢拠点都市連携事業内容の説明及び社会教育・生涯学習に関して情報交換(9/15~17) ●第1回担当者会議の開催(10/7)【出席:三原市、尾道市、福山市、府中市、神石高原町、井原市】 →生涯学習関係業務の各市町の状況について情報交換。今後どのような形で連携できるか検討中